

【1. 策定する理由】

令和3年11月24日付締結（市・財団）「覚書（6事業の評価方法）」に、以下の記載があるため

甲（市）、乙（財団）は本制度の目標の達成状況を測るために、レジデンシャル事業実施における芸術監督（以下「レジデンシャル芸術監督」という。）の意見を参考にアウトカム指標を定め、乙は1年ごとに自己評価を行った後、甲及び外部有識者からの意見聴取を経て事業評価を行い、結果を公表する。なお、要求水準が達成されていないと評価された場合は、以後の事業について協議するものとする。

※アウトカム指標であることがマスト

【2. 策定にあたっての方針】

①：令和元年9月市公表の「劇場専属舞踊団Noismの検証結果（及びこれを反映した18thシーズン迄の評価書）」と継続性を保つこと。②：令和3年11月に市が策定した『レジデンシャル制度』の「活動目標」と「基本方針」に対応していること。

※ R4.12市文政意向「レジデンシャル制度は、Noism検証結果をご破算にするものではない（評価書の評価指標は基本的に定量指標）」

③：R5年11月15日提出済『R6年度文化庁（芸文振）補助金交付要望書（アウトカムは必ずしも必要なし・審査基準一新、市・財団の連名で提出）』の「館としての5年間（R5～9年度）の事業計画（最終アウトカム記載）」と矛盾しないこと。

※館全体とレジデンシャル事業の方向性がずれると館としてダブルスタンダードになり、好ましくない

※ ミッション・ビジョンと最終アウトカムには強い連関性があるため記載

④：R6年度文化庁（芸文振）補助金の審査基準に対応していること

⑤：R4年11月に策定した指標案（市・財団で一度合意済み）を活用すること ← R4年12月、市文化政策課意向

※R4年11月15日提出済『R5年度文化庁（芸文振）補助金交付要望書（アウトカムは必須、市・財団の連名で提出）』に対応する形で作成

【3. ミッション・ビジョンとは（定義）】

※R6年度文化庁（芸文振）交付要望書作成の手引きより引用

ミッション：劇場・音楽堂等の存在意義、果たすべき社会的役割

ビジョン：劇場・音楽堂等のあるべき将来像・中期目標

【4. アウトカムとは（定義）】

※令和元&3年度に、りゅーとびあ職員6名が受講した「社会的インパクト・マネジメント研修テキスト」より引用。

事業や取り組みのアウトプットがもたらす変化、便益。プログラムや活動の実施後の影響として、受益者に現れてくる変化 【例】就労に関するスキルの獲得、気持ちの変化（前向きになる）、職につくなど

【変化度別分類】 直接アウトカム（アウトプットの結果生まれる直接的なアウトカム） → 中間アウトカム（最終アウトカムを実現する際に必要となるアウトカム） → 最終アウトカム（最終的に事業を通じて実現したい究極のアウトカム）

【5. アウトプットとは（定義）】

※同上

組織や事業の活動（アクティビティ）がもたらす製品、サービスを含む直接の結果 【例】活動回数、活動期間、参加者数および属性、配布された資料の数など

【6. 指標とは（定義）】

※同上

事業のアウトプット、アウトカムを何で測るかを、それぞれ達成しようとする目標値や程度を明示して表現するもの。指標の設定により、達成目標が明らかになり、計画どおりに事業が行われているか客観的に価値判断ができるようになる。

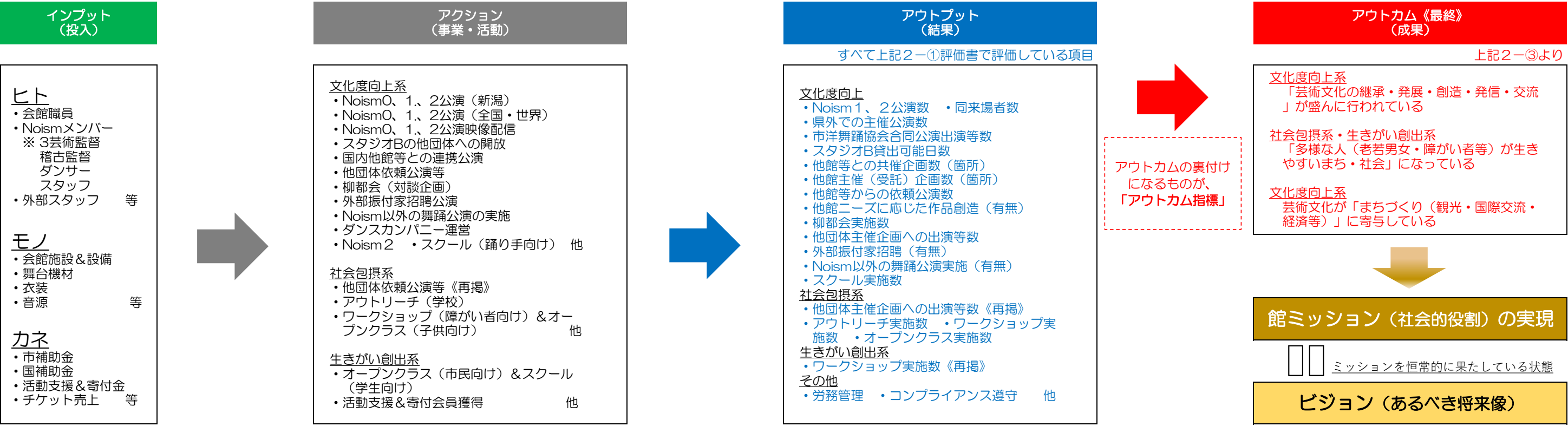
【例】アウトカム：「学力の向上」 指標（目標値）：①月末テストの点数（5割の子どもが、クラスの平均点を越える点数を取る） ②学期末の成績表（5割の子どもが、成績表の評価が1段階上がる）

【7. ロジックモデルとは（定義）】

※同上

事業計画を策定する際に「社会課題解決や社会価値創造にいたる道のりと必要な資源について整理し、事業目的を達成する上で重要となる具体的な目標・成果（アウトカム）を明確化・特定化し、その実現のために必要なアクション（事業）の設定と妥当性の検討をすること」が必要だが、そのために用いるツールの一つで【因果関係の整理や事業戦略】を図示することができる。

【8. 舞踊事業（Noism）ロジックモデル化試行】



【9. レジデンシャル制度・アウトカム（最終）・R6年度文化庁補助金 新審査基準の対応】

※前頁【2. 策定に当たっての方針②・③・④】の関係性を整理したもの

前記【2. 策定に当たっての方針②】より

市策定のレジデンシャル制度	
活動目標①	基本方針①
りゅーとびあ及び新潟市の プレゼンスの向上	質の高い舞台芸術作品 の創造・発信
	本市独自の多様な 文化を活用

← 対応 →

前記【2. 策定に当たっての方針③】より

事業・活動	アウトカム（最終）
	5年後（R9年度 文化庁補助期間R5年度～）
文化度向上系 ・Noism公演（市内） ・Noism公演（市外） ・Noism公演映像配信 ・柳都会（対談企画） ・他団体依頼公演等 ・ダンスカンパニー運営 ・Noism 2 他	「芸術文化の継承・発展・創造・発信・交流」 が盛んに行われている

← 対応 →

前記【2. 策定に当たっての方針④】より

R6年度文化庁補助金 新審査基準	
創造性・企画性 （企画力） （制作力） （発信力・影響力）	※レジデントカンパニー・アーティストは審査で加算 独創性があり、先導的で国際的な水準の事業計画 高い水準の作品や各種事業が行われている 我が国の実演芸術をけん引する成果が期待できる
国際性 （国際プレゼンスの向上） （国際交流） （新たな創客への取組）	海外の劇場等と連携し国際共同制作や海外作品の招聘等 に取り組んでいる アーティスト招聘等人的交流や情報交換が行われている 在住外国人や訪日外国人向けの体験機会等グローバル な視座で創客に取り組んでいる
多様性とアクセシビリティ （プログラムの多様さ） （参画者の多様さ） （アクセシビリティ）	幅広い観客や参加者に訴求する アーティスト等参画する人々の属性が多様 障害の有無や年齢等に関わらず、あらゆる人々と 実演芸術をつなぐため、施設の構造・設備上の配 慮、プログラム上の創意工夫やサポート、アウト リーチ等が行われている
活動実績と実現性 （活動実績） （多様な財源の確保） （広報・営業力） （他館連携） （設置者）	過去の活動実績が認められ、高い評価を受けており 、今後も相応の成果を上げることが期待される 予算計画が妥当で、事業収入のほか、各種助成金 や寄附金・協賛金等の獲得に努めている 広報計画が充実しており、券売や集客、会員制度 等の拡充に努めている 他の劇場・音楽堂等との事業連携等を通じて、効果 的で効率的な事業運営を行っている 円滑な事業の継続のため設置者と適切に意思疎通を 図っており、設置者による人材や財源の確保等が期 待できる

市策定のレジデンシャル制度

活動目標②	基本方針②
市民の文化芸術活動への 支援と新たな鑑賞者の増 加	市民や地元の様々な団体 等 との交流・連携
	舞台芸術の普及・啓発 ・人材の育成

← 対応 →

市策定のレジデンシャル制度

事業・活動	アウトカム（最終）
	5年後（R9年度 文化庁補助期間R5年度～）
社会包摂系 ・他団体依頼公演等 ・アウトリーチ ・ワークショップ& オープンクラス 他 生きがい創出系 ・オープンクラス等 ・活動支援&寄付会員 他	「多様な人（若男女・障がい者等）が生き やすいまち・社会」になっている

← 対応 →

★R6年度文化庁補助金 新審査基準

多様性とアクセシビリティ （文化拠点） （地域連携） （児童生徒への機会提供）	同 上 地域の文化資源を活用するなど、地域の文化拠点 として事業が組み立てられている 地域コミュニティの創生や社会課題の解決等に取り 組んでいる 子ども達を対象とした事業が行われている
活動実績と実現性	同 上

市策定のレジデンシャル制度

活動目標③	基本方針③
地方都市から舞台芸術を 創造・発信する取り組み の波及	国内他館との協力関係 の構築
	舞台芸術に携わる本市の クリエイティブ人材等の活用

← 対応 →

市策定のレジデンシャル制度

事業・活動	アウトカム（最終）
	5年後（R9年度 文化庁補助期間R5年度～）
文化度向上系 同上	芸術文化が「まちづくり（観光・国際交流・ 経済等）」に寄与している

← 対応 →

★R6年度文化庁補助金 新審査基準

地域文化拠点機能 活動実績と実現性	同 上 同 上
-----------------------------	------------



館ミッション（社会的役割）	芸術文化の継承、発展、創造を軸とし、市内・国内外との交流・発信の拠点 となることで、一人一人が豊かに生きるまち、社会の実現に貢献する	ビジョン（あるべき将来像）	世界と地域を結節する『芸術と創造のみなと』 ～日本唯一の公共劇場専属舞踊団を中心として～
---------------	---	---------------	---

【10. 舞踊事業（Noism）のアウトカム指標】

※前記【2. 策定に当たっての方針①～⑤】へ対応済み

参考資料2

- 【指 標】 ☆：前記2－①評価書指標を引き継いだもの ★：左記評価書直近実績（18thシーズン） ●：新規指標 ●：18thシーズン評価会議有識者意見反映
文：R5文化庁補助金要望書記載
※ アウトカム発現のエピソード等がある場合は【指標】に加えて補足的に用いる（R4年10月27日 文化庁補助金の実施主体である日本芸術文化振興会が「アウトカム」指示を受けて）
※ R5文化庁補助金要望書記載の指標は、R6審査基準に合わせて一部見直し可能となる見込みだが詳細は不明（R6年初夏頃に配布される交付要望書で判明する見込み）
- 【期 間】 評価期間はNoismのシーズン（秋～夏）とする
※19thシーズン（R4年9月～R5年8月）、18thシーズン（R3年9月～R4年8月）と同じ
- 【評 価】 A：要求水準（評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている（複数の指標の場合、全てを達成し、かつその達成度・内容が優れている）
B：要求水準（評価指標）が達成されている（複数の指標の場合、全てが達成されている）
C：要求水準（評価指標）が達成されていない（複数の指標の場合、全ては達成されていない）
※ 18thシーズン（市による評価）と同じ

前記【9】より

事業・活動	指標（アウトカム発現の裏付）	各シーズンの実績	自己評価	財団・市・外部有識者意見
文化度向上系 ・Noism公演（市内） ・Noism公演（市外） ・Noism公演映像配信 ・柳都会（対談企画） ・他団体依頼公演等 ・ダンスカンパニー運営 ・Noism2 他 【アウトカム(最終)】 「芸術文化の継承・発展・創造・発信・交流」が盛んに行われている	1：Noism0,1,2新潟公演企画数【3回以上／年】☆文			
	2：Noism0,1,2新潟公演の来場者数【3,235人以上／年】☆			
	3：Noism0,1,2新潟公演の満足度【95%以上】●文			
	4：Noism0,1,2県外公演企画数【2回以上／年】☆文			
	5：Noism0,1,2新潟&県外公演の新規来場者率【10%以上】●文			
	6：柳都会実施数【2回以上／年】☆文			
	7：金森穰氏（Noism芸術総監督）以外の振付家の招聘【1回以上／年】☆			
	8：レクチャー系講座実施【3回以上/年】● ※公演時のアフタートークにおける公演解説を含む			
	9：他団体との連携企画数（共催・受託等）【3回以上／年】☆文			
社会包摂系 ・他団体依頼公演等（再掲） ・アウトリーチ ・ワークショップ&オープンクラス 他 【アウトカム(最終)】 「多様な人（老若男女・障がい者等）が生きやすいまち・社会」になっている	10：小中学校向けアウトリーチ実施数【10回以上／年】☆文			
	11：ワークショップ実施数【3回以上／年】☆☆文			
	12：アウトリーチ参加者満足度【95%以上】●文			
生きがい創出系 ・オープンクラス&スクール ・活動支援&寄付会員獲得 他 【アウトカム(最終)】 「多様な人（老若男女・障がい者等）が生きやすいまち・社会」になっている	13：スクール実施数【2企画以上／年】☆☆文			
	14：オープンクラス実施数【3企画以上／年】☆☆文 ※一般市民向け（バレエ・からだ大人・からだ子供・レパトリー等）			
	15：オープンクラス参加者満足度【95%以上】●			
	16：活動支援会員数【103人以上／年】文●			

生きがい創出系 ・オープンクラス&スクール ・活動支援&寄付会員獲得 他 【アウトカム(最終)】 「多様な人(老若男女・障がい者等)が生きやすいまち・社会」になっている	17：16のうち、市内在住者数【48人以上／年】●			
	18：寄付会員数【21人以上／年】文●			
	19：18のうち、市内在住者数【11人以上／年】●			
文化度向上系 同上 【アウトカム(最終)】 芸術文化が「まちづくり(観光・国際交流・経済等)」に寄与している	【再掲】4：NoismO,1,2県外公演数【2回以上／年】☆文			
	【再掲】8：他団体との連携企画数（共催・受託等）【3回以上／年】☆文			
	20：新潟公演の市外者来場率【10%以上】●文			